

日刊食料新聞

http://www.nikkan-s.co.jp/

8 月 27 日

【金曜日】

© 日刊食料新聞 2004 年

日刊 (土日・祭日・休市日休刊)

大阪〜東京で

パーソナル情報システム
場本場で第2回(全国生鮮
流通フォーラム)「協賛」
は24日、大阪市中央卸売市



2 回目の開催となったフォーラム

パーソナル情報システム主催

市場制度改正などテーマに

生鮮流通フォーラム

日刊食料新聞ほかを開催
はじめに酪農学園大学の
細川充史教授が「市場法改
正と卸売市場に求められる
課題」と題して講演。こ
中で細川教授は、卸売市場
「卸売市場の再編の促進に
ある」とした。その理由と
して、市場経由率の低下や
卸売単価の低迷など、卸売
市場を取り巻く厳しい現状

について説明した上で、再
編の際には「行政区画を越
えた広域的な市場再編が起
むだろう」との見方や、伊
勢崎市公設地方卸売市場を
例に挙げ「公設市場の民営
化も進むだろう」と述
べた。これに関連し、開設
運営のあり方については、
水戸市公設地方卸売市場を
例に挙げ「中央市場に比
べて、取引の自由度も高く、
運営コストも低い地方市場

への位置付
け変更も生
き残り策と
して注目したい」と述べ
た。また卸売市場が低迷し
ている最大の要因として
「中卸に完売が無いこと」
とし、「中卸の新規参
入をもっと増やすべき。新
しい風を取り込み、活性化
を図るべき」と主張した。
本紙で「魚バイヤーの覚
悟」を連載中のすかいら一
書「を連載中のすかいら一
く購買本部の見崎福司氏も
講演。バイヤーとして培っ
た豊富な商品知識をもと
に、水産業
界における
トレーサビ
リティの重
要性を強

調。養殖マダイ使って統
けてきたトレーサビリティ
への対応を分りやすく説
明した。
同様のフォーラムは、25
26の両日、東京でも開かれ
た。(後日フォーラムの模
様を掲載)